



# 安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：  
JIS Z 7253:2019; JIS Z 7253:2012

改訂日 03-4-2024  
版数 3

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 Monarch® Buffer B2  
製品番号 T1112  
登録番号 情報なし

### 安全データシートの供給者の詳細

供給者  
ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビル第  
03-4545-1420  
tech.jp@neb.com

緊急連絡電話番号 Chemtrec +65 3163 8374

電子メールアドレス tech.jp@neb.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 情報なし

使用上の制限 情報なし

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2 中枢神経系	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

**GHSラベル要素****注意喚起語**

危険

**危険有害性情報**

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

水生生物に有害

臓器の障害のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 中枢神経系.

**注意書き****安全対策**

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・環境への放出を避けること

**応急措置**

- ・直ちに医師に連絡すること
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- ・直ちに医師に連絡すること
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・直ちに医師に連絡すること

**保管**

- ・施錠して保管すること

**廃棄**

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

**他の危険有害性**

情報なし.

**3. 組成及び成分情報****化学物質・混合物の区別**

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
Sodium Dodecyl Sulfate	151-21-3	0 - 10%	既存	(2)-1679,(2)-1675	既存	(2)-1679,(2)-1675
Sodium Hydroxide	1310-73-2	0 - 10%	既存	(1)-410	既存	(1)-410

当製品は、特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分2 に分類される成分を1.0%以上10%未満含有している。

**化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)**

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

第1種指定化学物質

重量%

## ド デシル硫酸ナトリウム 1.3

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	ド デシル硫酸ナトリウム			1.3	第1種指定化学物質	1-318	275

\* 政令名称を参照

**労働安全衛生法**  
通知対象物質  
該当しない

表示対象物質  
該当しない

**毒物及び劇物取締法**  
該当しない

#### 4. 応急措置

一般的なアド バイス	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこのSDSを示すこと。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹼)と多量の水で洗うこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は目を大きく広げたままにすること。受傷部をこすらないこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	灼熱感。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	この製品は腐食性物質である。胃洗浄の使用又は嘔吐は禁忌である。胃穿孔又は食道穿孔がないか調べること。化学的解毒薬を与えないこと。声門の浮腫により窒息が生じるおそれがある。湿性ラ音、泡状の痰及び高脈圧を伴う著しい血圧低下が発生する場合がある。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、及び粘膜の薬傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガス及び蒸気を放出することがある。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。
その他の情報	警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	注意！ 腐食性物質。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。環境中に放出してはならない。表土／下層土に侵入させないようにすること。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

### 保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施設して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。他の物質から隔離して保管すること。
---------	--

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 許容濃度

化学名又は一般名	ISHL濃度基準値	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
Sodium Hydroxide 1310-73-2	-	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>

## 生物学的許容値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

## 設備対策

シャワー  
洗眼場  
換気システム。  
情報なし。

環境ばく露防止  
保護具

## 呼吸用保護具

## 手の保護具

## 眼及び／又は顔面の保護具

## 皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸用保護具を着用すること。  
適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。  
密封性の高い安全ゴーグル。顔面保護シールド。適切な眼保護具を使用すること。  
適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。耐薬品性エプロン。不浸透性衣類。不浸透性の保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的及び化学的性質に関する情報

## 外観

物理状態  
色

## 臭い

## 臭いのしきい値

青色  
液体  
情報なし  
なし  
情報なし

## 特性

## 融点／凝固点

## 沸点又は初留点及び沸点範囲

## 可燃性

## 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

## 爆発又は可燃の上限界

## 爆発又は可燃の下限界

## 引火点

## 蒸発速度

## 自然発火点

## 分解温度

## pH

## 粘度

## 動粘性率

## 動的粘度

## 水への溶解度

## 溶解度

## n-オクタノール／水分配係数(log値)

## 蒸気圧

## 密度及び／又は相対密度

## 相対密度

## 蒸気濃度

## かさ密度

## 相対ガス密度

## 粒子特性

## 粒径

## 粒径分布

## 値

13

情報なし  
情報なし

## 備考・方法

情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

情報なし

情報なし

該当しない  
該当しない

## その他の情報

爆発性 情報なし  
酸化性 情報なし

## 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし.  
化学的安定性 通常の条件下で安定.  
危険有害反応可能性 通常の条件下で安定.  
避けるべき条件 長期間にわたる空気又は湿気へのばく露.  
混触危険物質 酸. 塩基. 酸化剤.  
危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし.  
爆発データ  
静電放電に対する感度 なし.  
機械的衝撃に対する感度 なし.

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 103,040.00 mg/kg  
ATEmix(経皮) 16,000.00 mg/kg  
ATEmix(吸入-ガス) 99,999.00 ppm  
ATEmix(吸入-蒸気) 99,999.00 mg/l  
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト) 78.00 mg/l

#### 毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Sodium Dodecyl Sulfate	= 1288 mg/kg ( Rat )	= 200 mg/kg ( Rabbit )	> 3900 mg/m <sup>3</sup> ( Rat ) 1 h
Sodium Hydroxide	= 325 mg/kg ( Rat )	= 1350 mg/kg ( Rabbit )	-

症状 発赤. 灼熱感. 失明を引き起こすおそれがある. 咳及び/又は喘鳴.

#### 製品情報

##### 経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 薬傷を引き起こす.(成分に基づく). 飲み込むと消化管及び気道の上部に薬傷を引き起こす. 暗色血の嘔吐及び下痢を伴う口及び胃内部の重篤な灼熱痛のおそれ. 血圧低下のおそれ. 口の周囲に褐色がかった又は黄色がかった変色が見られる場合がある. 喉の腫脹による息切れ及び窒息のおそれ. 飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある. 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ.

##### 吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 吸入すると腐食性である.(成分に基づく). 腐食性のヒューム/ガスを吸入すると, 数時間にわたる咳, 窒息, 頭痛, めまい及び脱力感のおそれ. 胸苦しさ, 息切れ, 皮膚の青変, 血圧低下, 及び心拍数の増加を伴う肺水腫のおそれ. 吸入された腐食性物質は毒性浮腫を引き起こす可能性がある. 肺水腫は生命に危険である可能性がある.

皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。腐食性。(成分に基づく)。薬傷を引き起こす。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。(成分に基づく)。眼に対して腐食性であり失明を含む重篤な損傷を生じるおそれがある。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。
皮膚腐食性/刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。重篤な眼の損傷。薬傷を引き起こす。

**特定標的臓器毒性(単回ばく露)** 国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。臓器の障害のおそれ。

以下の臓器の障害のおそれ： 中枢神経系。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 水生生物に有害。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
Sodium Dodecyl Sulfate	EC50: =53mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i> ) EC50: 30 - 100mg/L (96h, <i>Desmodesmus subspicatus</i> ) EC50: =117mg/L (96h, <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> ) EC50: 3.59 - 15.6mg/L (96h, <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> )	LC50: 15 - 18.9mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i> ) LC50: 8 - 12.5mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i> ) LC50: 22.1 - 22.8mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i> ) LC50: 4.3 - 8.5mg/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i> ) LC50: =4.62mg/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i> ) LC50: =4.2mg/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i> ) LC50: =7.97mg/L (96h, <i>Brachydanio rerio</i> ) LC50: 9.9 - 20.1mg/L (96h, <i>Brachydanio rerio</i> )	EC50: =1.8mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i> )

		LC50: 4.06 - 5.75mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 4.2 - 4.8mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =4.5mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 5.8 - 7.5mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 10.2 - 22.5mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 6.2 - 9.6mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 13.5 - 18.3mg/L (96h, Poecilia reticulata) LC50: 10.8 - 16.6mg/L (96h, Poecilia reticulata) LC50: =1.31mg/L (96h, Cyprinus carpio)	
Sodium Hydroxide	-	LC50: =45.4mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)	-

**未知の危険有害性物質の濃度** 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

**残留性・分解性** 情報なし。

**生態蓄積性**

**成分情報**

化学名又は一般名	分配係数
Sodium Dodecyl Sulfate 151-21-3	1.6

**土壌中の移動性** 情報なし。

**オゾン層への有害性** 分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

**他の有害影響** 情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

**国際規制**

**IMDG**

国連番号又はID番号 UN1824  
正式輸送品目名 Sodium Hydroxide solution  
国連分類(輸送における危険有害性クラス) 8  
容器等級 II

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質  
情報なし

**ADR** 規制対象外



**IATA**

国連番号又はID番号 UN1824  
 正式輸送品目名 Sodium Hydroxide solution  
 国連分類(輸送における危険有害性  
 クラス) 8  
 容器等級 II

**国内規則**

項目15を参照. 消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う。

**日本**

規制対象外

国連番号又はID番号 UN1824  
 品名(国連輸送名) Sodium Hydroxide solution  
 国連分類(輸送における危険有害性  
 クラス) 8  
 容器等級 II

**15. 適用法令****国内規制**

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当する 詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

**通知対象物質**

該当しない

**表示対象物質**

該当しない

**腐食性液体**

労働安全衛生規則 第326条 に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置を講ずる必要のある腐食性液体

皮膚等に有害な物質

化学名又は一般名	含有率 %
Sodium Dodecyl Sulfate	1.3

**毒物及び劇物取締法**

該当しない

**消防法**

該当しない

**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)**

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
Sodium Dodecyl Sulfate	151-21-3	優先評価化学物質

**船舶安全法**

詳細については項目14を参照

**航空法**

詳細については項目14を参照

**海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律**

該当しない

**港則法**

詳細については項目14を参照

**労働基準法**

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1

**水質汚濁防止法**

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の

3で定める指定物質

水道法

水道法第4条、法定水質基準

### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

### 国際インベントリー

TSCA	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
DSL/NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS/ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法インベントリー	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AiIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
NZIoC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
TCSI	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

### 凡例:

TSCA	- 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL	- カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト
EINECS/ELINCS	- 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS	- 化審法既存物質
IECSC	- 中国現有化学物質名録
KECL	- 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS	- フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AiCS	- オーストラリア化学物質インベントリー
NZIoC	- ニュージーランド化学物質インベントリー
TCSI	- 台湾既存化学物質インベントリー

## 16. その他の情報

改訂日

03-4-2024

改訂記録

\*\*\*前回の発行以降に更新されたデータを示します。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

### 凡例

SVHC: 許認可の対象となる高懸念物質:  
 PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性物質(PBT)  
 vPvB: 高残留性・高生体蓄積性(vPvB)物質  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 ATE: 急性毒性推定値  
 LC50: 50%致死濃度  
 LD50: 50%致死量

### 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局  
欧州食品安全機関(EFSA)  
米国環境保護庁  
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)  
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
米国環境保護庁高生産量化学物質  
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
危険有害性物質データベース  
国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
製品評価技術基盤機構(NITE)  
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)  
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)  
米国国家毒性プログラム(NTP)  
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
世界保健機構

### 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートで提供される情報は、発行日の時点における弊社の知識と信念の及ぶ限りにおいて正確な情報です。この情報は安全な取り扱い、使用、加工処理、保管、輸送、廃棄と放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証であると解釈することも品質明細書であると解釈することもできません。この情報は特定の物質のみに関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、この物質が他の何らかの物質と併用された場合または何らかの加工処理に使用された場合には有効でない場合があります。New England Biolabsは、製品の取り扱いまたは製品との接触の結果として生じるいかなる損害に対しても責任を負わないものとします。

**安全データシートのおわり**